

<p>651</p> <p>●分詞構文 , meaning</p> <p>1) ディズニーの「蒸気機関船ウィリー」の著作権が切れた。つまりパブリックドメインになったということだ。</p> <p>「つまり」の箇所をmeaningを使わずに自力で訳してみよう。</p>	<p>●左記の「つまり」の箇所は and that means (that)...と言い換えられる English Expressでは「分詞構文」と説明しています。</p> <p>1)Disney's copyright for Steamboat Willie expired, meaning it is now part of the public domain. あるいは、関係代名詞の制限用法(コンマあり)と理解し....Willie expired, which means (that) it is now part of the public domain.と言い換えてもよい。 いずれにせよ「つまり」と言って前文の説明をしたいときはこの", meaning"を使いましょう。使い勝手のよい表現です。</p>
<p>652</p> <p>●前置詞</p> <p>今期は前置詞は名詞や動詞とセットで覚えよう。するとリスニングが楽になる。</p> <p>1)化石燃料の需要の減少 2)世界の気温の上昇 3)AをBに抑える[制限する]</p>	<p>●下を見ずに、まず自力で1)2)3)を英作して下さい。</p> <p>1)a/the decrease in demand for fossil fuels 2)a/the rise in global temperatures 3)limit A to B</p> <p>A)「～の増加・減少」系の名詞の「の」は英語では"in" B)「～の需要」の「の」は英語では"for" C)「～に制限する」の「に」は英語では"to"</p> <p>●以下の長文を英作しよう（解答は教材を参照下さい） 現在のペースでの化石燃料への需要の減少は、世界の気温を摂氏1.5度に抑えるには全く不十分だ。</p>
<p>653</p> <p>●名詞の世界</p> <p>いかなる名詞も「数えられる」を前提に今期は取り組み、たとえ耳に届かなくとも、その名詞の前に冠詞はないか、名詞の最後に[s]または[z]音がないかを確認しましょう</p> <p>1)化石燃料 2)摂氏1.5度 3)25%の減少 4)現在のレベル 5)投資 6)クリーンエネルギー 7)地球の気温 8)1.5度の温暖化 9)壊滅的影響</p>	<p>●ディクテーションでよく間違えるのが「冠詞」の取りこぼし、あるいは「複数形の-s」をis/has等に混同すること 英語母語者たちは逐一「この名詞は実態があるか・ないか」 tangible or intangibleかと自らに問い、そして表明しながら喋っているように思えます。</p> <p>A)「数えられる名詞」とは： 一般法則としては「他との境界がある」もの。触って、見て、あるいは聞いて、ここから始まり、ここで終わると言えるものはだいたい数えられる。</p> <p>B)「数えられない名詞」とは： どこからどこまでがそれだと言い難いもの、例えば空気などの物質や概念的なものなど、一つ二つと、どう数えていいかわからないもの。</p> <p>C) 数えられない名詞でも形容詞がつくと、前に冠詞のa/anがあることがよくある。掴み所のないものが、形容詞で具体化され、実態を帯びるから。</p> <p>●左記の1)～9)の答えは授業で確認しました。(D7の教材参照) 一つ、ヘンテコな名詞が6)のenergy。fuelをfuelsにできるなら、energyもenergiesと言えるんじゃないか。しかもcleanと形容詞で限定しているから、investments in clean energiesと言った方がむしろ良いのではないか。 これはGENIUSをじっくり読んで、思いを巡らせてください。そしてenergyというこの変哲もない名詞との新たな遭遇を楽しんでください。</p>
<p>654</p> <p>●他人の言葉を引用するとき</p> <p>1)バチカン、引用すると、「教会は料金所ではない」と書いています</p>	<p>●引用文の表記方法が決まっていますので、次回から今回学んだ方法でディクテーションしましょう</p> <p>The Vatican wrote, quote, "The Church is not a tollhouse."</p>

<p>655</p> <p>●自動詞か他動詞か</p> <p>1)The fatal moments of a catastrophic collision captured by a cameraman.</p> <p>と聴こえたとなると、このcapturedは何だ？</p> <p>自動詞か他動詞か それとも....？</p> <p>右の欄の赤文字は修正箇所です (3月9日)</p>	<p>●ディクテーションで「？」と思ったら必ずGENIUS先生に伺いましょう。 今期は聞き取りを強化するために「自動詞・他動詞」の感覚を磨きましょうね。 そのために、まずは動詞の直後に意識を向ける。 S V の次に、名詞が来ていたらその動詞は何動詞になる？前置詞が来ていたら何動詞？ もし名詞が来ていれば、その名詞は目的語になるので他動詞、前置詞なら副詞(句)をとる 自動詞ですね。 左の文のcapturedの後に目的語の名詞がなく前置詞が来ているので一見、自動詞に見えます。 早速、GENIUSに行きましょう。 ●GENIUSを見てみると、captureには他動詞の用法しかありません。そうすると自動詞 ではないので、他動詞として左記の文を<b>SST</b>しましょう。 A)The fatal moments of a catastrophic collision captured (by) a cameraman. 「byを括弧で取ると構文はOKだけど、意味がヘン」The police captured him.ならOK。 (B)The fatal moments of a catastrophic collision <u>were</u> captured by a cameraman. 「wereを下線引いて加筆するとOK」 ●B)が正解です。 ●もう一つの解釈 左の文のcapturedを言い換えると、<u>コンマ+which were captured</u> (非制限用法) あるいは <u>コンマ+being captured</u>と言い換えられるので、過去分詞のcapturedが前の名詞 momentsを説明していると考えられる。ただし、そうすると動詞のない文になってしまう ので、上記 B) のようにwereを加筆した方が良いですね。</p>
<p>656</p> <p>● before &amp; after</p> <p>1) The aircraft was stationary on the runway for 40 seconds <b>before</b> the collision. 2)The back of the aircraft caught fire shortly <b>after</b> the captain had increased the engine power <b>before</b> exploding following the collision.</p> <p>●NELの前だし訳 *before は after *after は before と読み換えて訳しましょう</p>	<p>●後ろからの訳 1)飛行機は衝突の前に滑走路に40秒停止していた 2)衝突に続いて起こった爆発の前に、飛行機の後部は機長がエンジン出力上げた直後に炎上した</p> <p>●NELの前だし訳 1)飛行機は滑走路に40秒停止したあと衝突した 2)飛行機の後部が炎上する直前に機長がエンジン出力を上げていた。そのあと衝突し爆発が起きた</p>
<p>657</p> <p>●主節+従属節の前だし訳</p> <p>1) They were unaware that a fire had broken out on board <b>until</b> they were informed by a cabin attendant that the left engine was on fire.</p> <p>長い主節のあと、長い従属節がきた時の前だし訳の方法</p>	<p>●後ろからの訳 1)彼らは客室乗務員から左エンジンが炎上したと連絡があるまで機内の火災には気づかなかった</p> <p>●NELの前だし訳 1)彼らは機内の火災には気づかなかった。客室乗務員から左エンジンが炎上したと連絡を受けてはじめて知った</p> <p>彼らが機内の火災に気づいたのは、客室乗務員から左エンジンが炎上したと連絡を受けた時だった</p>
<p>658</p> <p>●名詞を後ろから過去分詞で説明</p> <p>1)飛行機は被災地に向かうところであった 2)飛行機は地震の被災地に向かうところであった</p>	<p>●過去分詞を名詞の前に置く用法 1)The airplane was en route to the <b>affected [stricken] areas</b>. 2)The airplane was en route to the <b>quake-stricken areas</b>. *The airplane was en route to the <b>affected areas</b> of the earthquake.</p> <p>●過去分詞を名詞の後ろに置く用法 2)The airplane was en route to the <b>areas affected</b> by the earthquake. *<b>which had been affected</b> by the earthquake といい換えられる</p>

659  
●**モデル・機種名**の場合

1)この事故にはエアバスA350とターボジェット機が関与した

2)私はレクサスを運転している

●全ての名詞は数えられる名詞というスタンスに立つ  
ひょっとしてこの名詞も数えられるかもしれないと、頭(こうべ)を垂れて謙虚にGENIUSの教えを乞いましょう。と講師がよく言いますが、そんな時に会った”Airbus A350”……。もしもあなたが、Wikiの記事の一行目のAirbusの前に冠詞の”an”がついていたことに気づいていたならば、凄いです！講師の目には入っていませんでした。

では、左の文と一緒に和訳しましょう。

1)This accident involved an Airbus A350 and a turboprop.  
2) I drive a Lexus.

モデル・機種名が初めて言及される場合は、普通名詞と同じ扱いです。

660  
●**giveの文型は？**

1)管制塔はその航空便に着陸許可を与えた

S	V	O誰に	O何を
<hr/>			
A) The control tower	gave	the airliner	to land
			to allow to land
			allowing to land
B) He	gave	me	a book.

A)はヘンですね。B)のHe gave me a book. のように「O何を」の部分には不定詞等ではなく名詞がくるのが4文型です。

左記の文で「O何を」の箇所にくるのは「着陸許可」で、CNNのようにclearance to landにするか、Wikipediaのようにlanding clearanceにすれば、正しいSVOOの文になります。

1)The control tower gave the airliner clearance to land.  
The control tower gave the airliner landing clearance.

661  
●**escape 自動詞・他動詞**

1)彼らは燃えさかる家から逃げ出した

2)彼らは猛火から逃がれた

●自動詞と他動詞が描く世界  
今週のescapeの発見には、誰もかれもが膝を打ち感心しました。復習しておきましょう。まず「逃げる」と言う動詞の場合、日本語では「～から逃げる」がパターンなので英作するときも、escape from ～と自然に出てきます。GENIUSを見ても**自動詞用法**の方が冒頭に書かれていて：

1)They **escaped from** the burning house.という例文が出ています。  
だから2)の場合も：  
2)They **escaped from** the inferno.としてOKだろう。

ところが、Will RipleyはThey **escaped** the inferno. と**他動詞**を使っている。何かニュアンスの違いがあるのかと、もう一度GENIUSをじっくり読んでみると：

1)自動詞では「人などが場所から逃げる」  
2)他動詞では「人などが病気・危険などを逃れる」  
びっくり！ 確かに日本語でも2)の他動詞の方は：  
2)彼らは猛火を逃れた、彼らは火の海を逃れた、と言える！

●さてクラスで出した問題の復習：  
A)escape from prison / B) escape prisonの意味の違いは何でしょう。  
自分で答えを出したあと、GENIUSにいつてね。

<p>662</p> <p>●doing</p> <p>1)耐火性素材</p>	<p>●"fire-resistant materials" vs "fire-resisting materials"</p> <p>CNNはfire-resistant materialsを使っていますが、CクラスのJUさんが調べてくれた内容をもとに"resistant"と"resisting"の違いをみてみましょう。</p> <p><b>A) fire-resistant</b></p> <p>火に対して耐性がある、または火から保護される特性を持つことを示すときに、一般的に一番よく使われる表現。</p> <p>GENIUSによると、resistantは形容詞で、複合語(2語以上をハイフンで結んだ語)によく使われるとあり、例えば：</p> <p>fire-resistantの他に、water-resistant; heat-resistant等として使う。</p> <p>このようにハイフンで結ばれた複合語が一つの形容詞となって「火」や「水」や「熱」に耐える性質があるという意味になる。</p> <p>例：This is a fire-resistant material. 「これは耐火性の材料です」</p> <p><b>B) fire-resisting</b></p> <p>こちらも「火に耐える」という意味だが、やや「火の進行を防ぐ」または「火の影響を遅らせる」特性があるという意味で使われる。</p> <p>なるほどですね。-ingだから「resistしている」わけですから。</p> <p>例：The fire-resisting wall can prevent the fire from spreading. 「この耐火壁は火の広がりを防ぐことができます」</p> <p>●二つの違い</p> <p>上記の説明でニュアンスの違いが分かりましたが、その他の違いとして、fire-resistantの方がより一般的な表現で、一方 fire-resistingの方は技術的な文脈のときに使われることが多いそうです。</p>								
<p>663</p> <p>●仮定法過去完了</p> <p>1)彼はなぜそれに気づかなかったのか</p>	<p>●過去を振り返ってみて、議論する場面</p> <p>1)彼はなぜそれに気づかなかったのか？</p> <p>Why didn't he notice it?</p> <p>2)彼はなぜそれに気づけなかったのか？</p> <p>Why couldn't he notice it?</p> <p>3)彼はなぜそれに気づけなかったのか、気づけてもいいはずなのに</p> <p>Why couldn't he have noticed it?</p> <p>3)はGPT4によると</p> <p>It emphasizes the possibility of him noticing but failing to do so.</p> <p>「気づけてもいいはずだ、普通なら気づけるはずだ」という気持ちを込めたいときは3)なのだ。仮定法過去完了で心の裏を表せる。ムムム！</p>								
<p>664</p> <p>●be fascinated by/with</p> <p>1)Americans are fascinated by the world.</p> <p>これ、どう訳したらいい？</p>	<p>A)の訳「アメリカ人は世界に魅了されている」</p> <p>どう言うこと？</p> <p>世界には色んな国があり、文化があり、その多種多様な世界にアメリカ人は魅力を感じている。世界のことをもっと知りたいと思っている。フーン。ちょっとピンとこないね。</p> <p>B)の訳「アメリカは世界を魅了している」</p> <p>と少なくともアメリカ人は思っていそうだし、この日本語の方がピタッとハマる感じがする。けれどこの場合だと：</p> <p>Americans fascinate the world. になるからB)は誤訳になりますね。</p> <p>●Fareed Zakariaの英語を聞くと、Americans are fascinated by the world.と口では言うものの、結局アメリカ人が知りたいのは.....と続いていましたから、A)の方が正しい訳ですね。</p>								
<p>665</p> <p>●AはBをCとみなす</p> <p>だいたいにおいて、人々は米国人を個人主義だとみなしている</p> <p>上記の文を以下の3つの動詞を使って英作してみよう</p> <p>1)consider 2)regard 3)think of</p>	<p>A) Generally speakingを冒頭において：</p> <table border="1" data-bbox="531 1859 1527 2004"> <tr> <td>Aは</td> <td>みなす</td> <td>Bを</td> <td>Cと</td> </tr> <tr> <td>People</td> <td>1)consider 2)regard 3)think of</td> <td>Americans</td> <td>individualistic. as (being) individualistic. as (being) individualistic.</td> </tr> </table> <p>B)What are the traits that people think of as (being) distinctively American? の答えは来週クラスで確認しましょう。</p>	Aは	みなす	Bを	Cと	People	1)consider 2)regard 3)think of	Americans	individualistic. as (being) individualistic. as (being) individualistic.
Aは	みなす	Bを	Cと						
People	1)consider 2)regard 3)think of	Americans	individualistic. as (being) individualistic. as (being) individualistic.						

<p>666</p> <p>●大過去</p> <p>1) I worked with a French client a while ago, <a href="#">who had moved to the U.S.</a></p> <p>どう訳しますか？</p> <p>右のコメントを見る前に訳してみてください。</p>	<p>●クラスで出てきた訳は： 「私はしばらく前にフランス人の顧客の仕事をしたのですが、その人はアメリカに引っ越しました」 過去形か大過去か判然としない訳が多かったように思います。どこを基点にして大過去 had moved したのかを、言語化して訳に反映させましょう。 「私はしばらく前にフランス人の顧客の仕事をしたのですが、仕事の依頼を受けた時には、すでにその人はアメリカに引っ越していました」 フランス人と聞けば、フランス在住かと思うだろうが、アメリカ在住のフランス人だったので、と言う意味が大過去に込められていますね。</p> <p>●コンマを取って I worked with... a while ago <a href="#">who had moved to the U.S.</a> 挿入節としてwhoの前にコンマを入れたのですが、ない方が良いでしょう。 「最近のことですが、私はアメリカ在住のフランス人の顧客から仕事の依頼を受けました」と言う感じなら、コンマはない方がいいですね。 大過去は言語化していこう。発見が多い！</p>
<p>667</p> <p>●makeでSVOC</p> <p>*You make me <a href="#">happy</a>. 今日は上の文のhappyの所に過去分詞を使った文を作ってみよう。</p> <p>1) 私の英語が通じなかった (私は私自身を英語で理解してもらえなかった)</p> <p>2) 彼は会議に出席しているアメリカ人の中で、意見を主張することができなかった (～ 自分自身の声を聞いてもらうことができなかった)</p>	<p>●使役動詞 make+目的語+<a href="#">過去分詞</a></p> <p>1) I couldn't make myself understood in English. 2) He couldn't make himself heard among Americans in the meeting. 上記の2)は今週学んだ中国人の話ですが、私たち日本人もネイティブの中でなかなか英語で喋ることは難しい。</p> <p>●「目的語にoneself以外」を使った文で、その他の例文を見てください *必ず自分で英作してね。パターンは make+目的語+<a href="#">過去分詞</a> です。</p> <p>A) 彼女は会議で声をあげた B) 彼は参加者に自分の意見を理解してもらった(させた) C) 部長は報告書を提出する前に書き直させた D) 社長は新たな規則が全社員によって尊重されるようにした</p> <p>A) She made her voice heard in the meeting. B) He made his opinion understood by the participants. C) The manager made the report revised before submission. D) The president made the new rules respected by all his employees.</p>
<p>668</p> <p>●singular they</p> <p>*単数のtheyを使って英作： 1) 誰もが自分は答えがわかっていると思っている Everyone thinks...</p> <p>2) 上手な書き手は自分が欲する言葉を正確に見つけることができるはずだ A good writer....</p>	<p>●GENIUSのthey参照</p> <p>1) Everyone thinks they have the answer. 2) A good writer should be able to pick precisely the word they want.</p> <p>今回教材で出会った singular theyは以下のような文でした</p> <p>If <a href="#">an</a> American gives a presentation in Germany, <a href="#">they</a>'d be very surprised to get blunt negative feedback from Germans.</p>
<p>669</p> <p>●the + 最上級</p> <p>1) あなたの一番大きな助言は一番難しいこと、つまり「己を知れ」ですね</p> <p>2) これらは、もっとも重要な3つの点 (事柄) です</p> <p>theがあったりなかったりする？</p>	<p>1) The biggest piece of advice you're giving is the hardest, which is "Kow yourself." 2) These are the three things that are most important. 注目したいのは動詞の直後の最上級です。1)ではthe hardestとtheつき、2)ではmost importantとtheなしです。2)にどうしてtheがついていないの？</p> <p>●補語(SVC)にくる<a href="#">形容詞</a>の最上級や<a href="#">副詞</a>の最上級のtheは省略され得る *形容詞： This dictionary is (the) <a href="#">best</a>. *副詞： He works (the) <a href="#">hardest</a>. # <a href="#">名詞</a>： He is the best <a href="#">student</a>. (省略不可)</p> <p>1) the hardest この文のhardは<a href="#">形容詞</a>だからtheは省略可能。但し、例文検索してみると、 *The first step is always the hardest. のようにtheがつき文が多かった。 2) most important この文のimportantも<a href="#">形容詞</a>だからtheが省略されているが、theつきも可能。</p>

<p>670</p> <p>●the + 国籍名 (複数形)</p> <p>1)3人の日本人</p> <p>2)フランス国民 3人のフランス人</p> <p>3)イギリス国民 3人のイギリス人</p> <p>4)ドイツ国民 3人のドイツ人</p> <p>people等で複数形にはしない</p> <p>つまり: three Japanese people とはしないで英作</p>	<p>●パツと思いつかなければGENEUIUSに教えてもらいましょう</p> <p>1)three Japanese 恐らくthree Japaneseには何か違和感があるので、これまで「3人の日本人」の場合は、three Japanese peopleと言っていたのではないのでしょうか。 この違和感って「大切なセンサー」で、米国人ならthree Americansになるところ、Japaneseの場合Japanese<b>s</b>とは言わない。はてな？と疑問につながるセンサーです。</p> <p>*GENIUSによると、Japaneseは単複同形、そして前にtheをつけると「日本国民」になる。なるほど。もちろん文脈により「国民」ではなく「その・それらの日本人」という意味になることは当然あります。</p> <p>2)the French; three French 3)the British; three British 4)the Germans; three Germans (あ！ -sあり)</p> <p>●だんだんパターンが見えてきた！</p> <p>A)-nで終わる国籍は-sがつく B)-n以外は単複同形 (しかし、言い切れる?) A) Americans; Germans, Koreans, Indians, Malaysians; Iranians; Russians B) Japanese; Chinese; French; British; Swedish; Danish; Dutch 調べていくと、例外が見つかった C)タイ国民 the Thai(s) : つまり-nで終わらないけどthe Thais (タイ国民) で三人のタイ人はthree Thais。 デンマーク国民 Danishの場合は-sなしでthe Danish だが、the Danesの場合は、スペルは-neだけれども、発音は[-n]で終わるから複数形の-sがつけられる。 ということで本日はこれまで。ルールが見つかったら教えてね！</p>
--	---